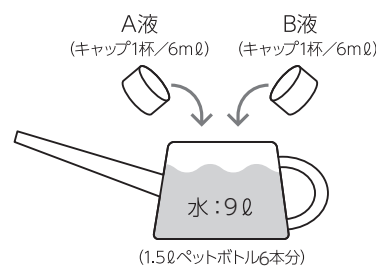


液肥水の作り方 & 使用方法

栽培については別冊「栽培のしおり」をよくお読みください

液肥水の作り方

じょうろに9ℓの水、液体肥料
A・B 液をキャップ3杯ずつ入れて、
液肥水を作ります。
(500 倍に薄めます)



Point

原液だけで混ぜると化学反応で
成分が結晶化してしまうので
水の中へ原液を投入してください。

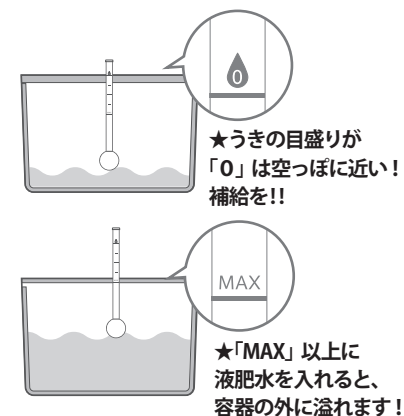
一番最初の給液の仕方

- ①液肥槽排液蓋からゆっくり
液肥水を9ℓ投入してください。
- ②循環ポンプのコンセントを
挿して電源を入れてください。
- ③排液部から液肥水がながれだ
したら、5ℓの液肥水を追加
してください。
- ④液肥槽排液蓋を取付けてく
ださい。



日々の液肥水の入れ方

栽培を続けると、野菜は液肥水を
吸収するため、液肥水の補給
が必要になります。こまめに
液肥水を補給してください。



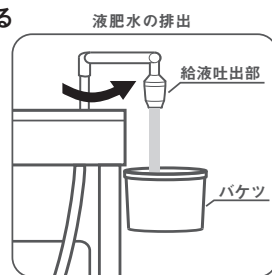
補給時チェック!!
根が育ってくると、水位調節管に根が入り
込み、水漏れの原因になります。
こまめにチェックして根を出してください。

メンテナンス

栽培終了時の手順

- ① 循環ポンプの電源を抜き、野菜を撤去する
スポンジ培地ごと引き抜いてください。
- ② 液肥水の排出

右図のように空気混入器の吐出部を回転さ
せてバケツ等の容器に入れて排水してくだ
さい。ある程度液肥水が抜けたら循環ポン
プを止めてください。排出した液肥水は土栽
培や花壇の水やりに使えます。

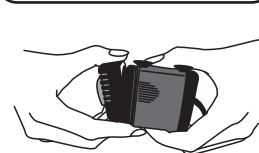


- ③ 各部を水で清掃し、乾燥させる
循環ポンプは分解して掃除しよう
(インペラーユニット部)

- ④ 栽培しない場合は、直射日光、風雨の
当たらない場所に保管する

循環ポンプの掃除

栽培終了時、または循環ポンプが作動しない時は、分解して掃除してください。



- 1 カバーははずす
→ゴミがついていたら
取り除きましょう!



- 2 キャップを回し外す



- 3 ピンセット等でインペ
ラーユニットを取出す

インペラーユニットが固着している
または、結晶がついている場合



市販の食酢に浸けて結晶化した肥料を溶かしましょう。
本体を30分～1時間浸けた後、水洗いをして組み立てましょう。
溶けない場合、さらに1晩つけてください。
※消耗品ですので、改善しない場合は新品をお買い求め下さい。

故障かな?と思ったら

こんな時	調べるところ	処理の仕方
液肥水を 汲み上げない	給水ホースが循環ポンプから外れていませんか?	給水ホースを循環ポンプに接続しなおしてください。
	電源プラグがコンセントから外れていませんか?	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んで下さい。
	循環ポンプの吸水部に根やゴミが詰まっていますか?	電源プラグをコンセントから外し、循環ポンプのインペラーユニ ット部分を掃除してください。
	循環ポンプのステンレスシャフトに液肥が固着して いませんか?	電源プラグをコンセントから外し、循環ポンプのインペラーユニ ット部分を掃除してください。
許容量なのに 水が漏れる	排液部に根が詰まっていますか?	排液部から根を出してください。

お問合せは
こちらまで

0800-888-8787



／ホームページQRコード



検索

ホームハイボニカ

製造元

協和株式会社ハイボニカ事業本部
大阪府高槻市郡家新町 85 番 1 号

警告

循環
ポンプ



必ず守る

- 電源は交流 100V のコンセントを使用する。
火災、感電、けがの原因になります。
- 電源プラグの刃やコンセントの汚れ、ほこりは定期的
に乾いた布で拭き取る。
火災の原因になります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
感電、ショート、発火の原因になります。
- 屋外で使用する場合、コンセント、延長コードは防水
カバーのついた屋外用を使用する。火災、漏電の原因
となります。



手ぬれ禁止

- 電源を入れたまま、液肥槽内に手を入れたり、循環ポ
ンプに触れない。
感電の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電、
けがの原因になります。



分解禁止

- インペラーユニット以外の分解、修理、改造をしない。
火災、感電、けがの原因になります。



液肥
混ぜない

- ハイボニカ液体肥料と石灰硫黄剤を混ぜない。
有毒ガスが発生する恐れがあります。

注意

循環
ポンプ



空回し禁止

- 空気中での空運転はしない。水中専用ポンプの為、
誤動作、故障の恐れがあります。



電源プラグを
抜く

- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源
プラグを持って抜く。
感電やショートによる火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの
差し込みがゆるい時は使用しない。感電やショートに
よる火災の原因になります。



設置
室内栽培

- 室内に PLAABO を設置する場合、床を保護するた
め PLAABO の下に敷物を敷く。また液肥水がこぼれ
たらしっかり拭き取る。液肥水がこぼれたまま放
置すると床材を傷める原因になります。



液肥
禁止

- A 液と B 液を原液のまま混ぜない。
必要な肥料成分が結合して沈殿します。
- お子様の手の届く場所で保管しない。誤飲する恐
れがあります。
- 直射日光や高温の場所で保管しない。
成分が劣化または変性の恐れがあります。

取扱、
用途に
ついて



禁止

- 突風が発生しやすい場所や、常に風が強く吹いて
いる場所には設置しない。
横転したり、落下して破損する恐れがあります。
- 高温多湿のところに保管しない。
変形したり、カビが発生する原因になります。
- 容量以上の水を入れない。栽培槽が水の重さで変形
したり、水漏れの原因になります。
- 海外では使わない。国内専用品です。やけど、発火
の原因になります。

その他
注意事項



- 日光の当たり続ける場所に長期間置いた場合、紫
外線により樹脂劣化し、表面に白い粉がふきだします。
樹脂の劣化が進み、パネルに穴があいたり、破損した
らお取替ください。
- 日光により、栽培槽やパネル等の色が黄変したり、
変色します。
- 液肥水が日光に当たったままになると、水中に藻が
発生しやすくなります。

ホームハイボニカ PLAABO 取扱説明書



PLAABO

プ ラ ー ボ

安全上のご注意 ※必ずお守りください

ご使用前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
※使う人や他の人への危害、財産の損害を未然に防ぐため、必ず
お守りいただくことを説明しています。
「表示の説明」は、誤った取扱いをしたときに生じる危害、損害の
程度の区分を説明しています。
「図記号の説明」は、図記号の意味を示しています。

表示の説明



警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容



注意 軽症を負うことや、家屋、家財などの
損害が発生する内容

図記号の説明



中の絵と近くの文で、禁止(してはいけない事)を示す



中の絵と近くの文で、指示(しなければならない事)を示す

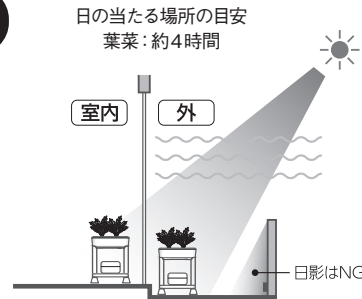


中の絵と近くの文で、注意を示す

設置場所 条件

設置するポイント

- ✓ 平らな場所
- ✓ 日の当たる場所
- ✓ 風通しの良い場所



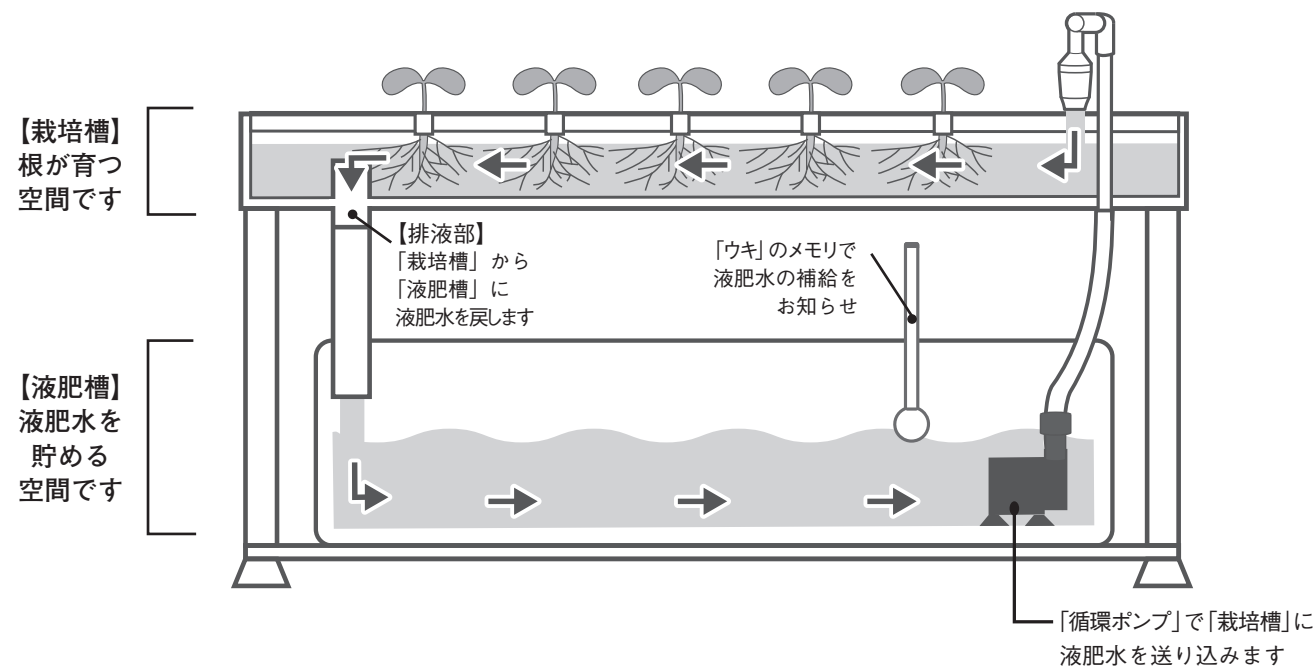
✓ お手入れしやすい場所

周りに物を置いたり、大きな障害物があると給液をしにくい、収穫しにくい等栽培がしにくくなります。

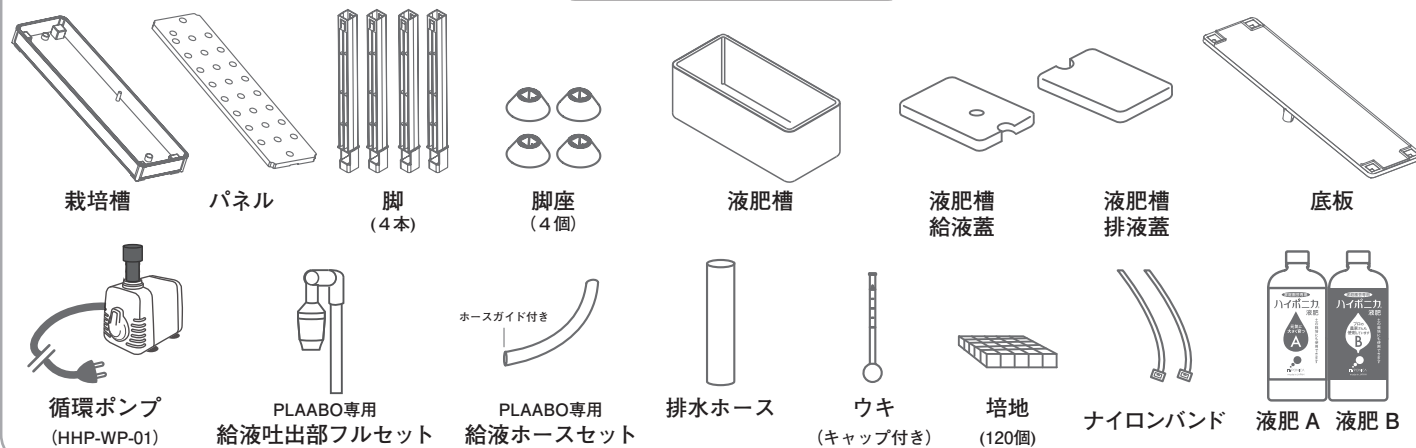
PLAABO の構造

こだわり設計の二層構造

循環ポンプで液肥水を循環させて、栽培槽に十分な肥料と空気を送り込みます



同梱物



【仕様】

■電源 / 交流 100V 50-60Hz ■消費電力 / 8W ■サイズ / 約 84cm×24cm×53cm ■容量 / 約 15L ■電源コード長さ / 約 4m
 ■材質 / 本体 ●給液吐出部フルセット：ポリプロピレン、ABS 樹脂 ●循環ポンプ：ABS 樹脂、ポリプロピレン、ステンレス鋼、磁石、ゴム ●栽培槽、脚、底板、脚座、ウキ：ポリプロピレン ●給液ホースセット：シリコーンゴム ●排水ホース：塩化ビニル樹脂 ●葉菜用パネル、液肥槽、液肥槽給液蓋、液肥槽排液蓋：スチロール樹脂 ●ナイロンバンド：ナイロン ●培地：ポリウレタン
 ●液体肥料：A・B とともラベルに記載

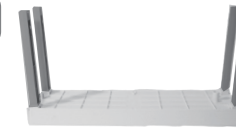
組み立て



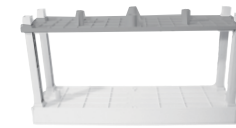
◀ 動画でも組み立て方を解説しています

△ 注意
組み立ての際、手を傷つけないようご注意ください

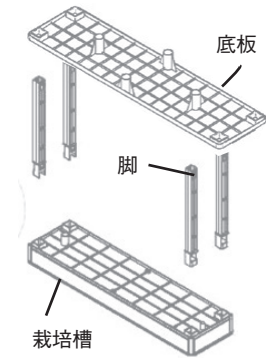
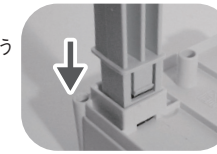
1



【栽培槽】をひっくり返して
【脚】を差し込み【底板】を
【脚】の反対に差し込む。



U の字が内側になるように差し込みましょう。



凸が上に向きで底板を返し、最後まで脚を差し込みましょう

2



【脚】の先に
【脚座】を差し込む。

脚の凸凹がかみ合うように差し込みます。

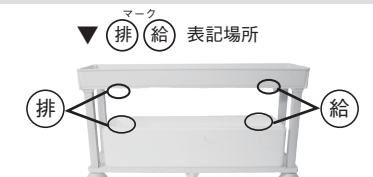


最後まで差し込みます

3



②をひっくり返して「排」「給」マークに合わせて【液肥槽】と【液肥槽給液蓋】と【液肥槽排液蓋】を設置。

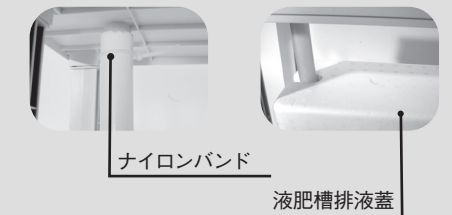


※文字は栽培槽と蓋で上下反対になります

4



【排水ホース】を【栽培槽】の裏の「排」マークの筒状の凸に差し込む。
【ナイロンバンド】でとめて【液肥槽排液蓋】を閉じる。



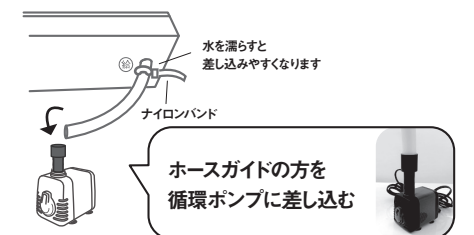
ナイロンバンド

液肥槽排液蓋

5



【給液ホースセット】と【循環ポンプ】を接続させる。【栽培槽】裏の「給」マークの筒状の凸に【給液ホースセット】を差し込み、接合部を【ナイロンバンド】でとめる。

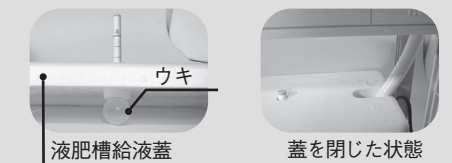


ホースガイドの方を循環ポンプに差し込む

6



【循環ポンプ】を【液肥槽】に入れ【ウキ】を【液肥槽給液蓋】の穴に入れて蓋を閉じる。



ウキ

液肥槽給液蓋

蓋を閉じた状態

7



【栽培槽】に【パネル】を設置する。
※パネルの「給」「吐」という文字が給水ホース側にくるようにする。文字は反対を向いています。



8



【栽培槽】に【給液吐出部】を設置し完成！



液肥水の使用法については裏面をご覧ください